

ジュエリー文化史研究会からのお知らせ - 10 -

2013.6.13

6月1日のAグループで出た疑問について

露木宏

ご指摘いただいたように、「7-2-11」の小振りの簪の黒っぽい部分は「赤銅」(しゃくどう)ではなく、鍍付(ざびつけ)された「鉄」のようです。テキストを訂正しておいて下さい。

宝飾クラフト学院の伝統彫金の先生にも見てもらいました。何人かお気付きになったように足の内側(内股)に赤サビが出ていましたが、これが「鉄」である証拠で、「赤銅」や「四分子」(しぶいち)ではこのようなサビは出ないとのこと。赤銅や四分子の場合は銅合金なので出るのは緑青(ろくしょう)の青サビ。

なお、鉄の鍍付けについては、「ジュエリー用語辞典」(JJA刊)P383を参照してください。

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>

このメールアドレス(j-bunka@jj-craft.com)には返信できません。

返信の必要のある方は、以下のアドレスにメールを送ってください。

日本宝飾クラフト学院 info@jj-craft.com

幹事 戸倉博之 spina@precious-chroma.com